

もしもの 時に備えて



近年、日本列島では集中豪雨・地震などの自然災害が各地で頻発しています。3月11日に、東北地方太平洋沖地震が発生し、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録しました。この地震により、大津波が発生し、未曾有の大災害となりました。

鳥取県東部地域では今から68年前の昭和18年9月10日、鳥取市を震源地とする震度6の直下型地震が発生し、大きな被害を受けました。

今月は9月1日が防災の日、8月30日から9月5日までは防災週間となっております。全国的に防災意識の高揚が図られています。岩美町においても、いつ自然災害などに見舞われるか分かりません。この機会に身のまわりを点検し、災害に備えて普段から対策をしておきましょう。





○ 災害に対する備え

◆ 非常持出品・非常備蓄品を準備しておこう

避難時に持ち出す「非常持出品」、災害後の生活に必要な「非常備蓄品」に分けて準備しておきましょう。

非常持出品	非常備蓄品
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 食品(カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど) <input type="checkbox"/> 貴重品(預金通帳、印鑑、現金など) <input type="checkbox"/> 救急用品(包帯、三角きん、消毒ガーゼ、傷口の消毒薬、常備薬など) <input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 軍手(厚手の手袋) <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 衣類(下着・セーター・ジャンパー類など) <input type="checkbox"/> 毛布・タオルなど <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池 <input type="checkbox"/> マッチ(ライター)・ろうそく(水に濡れないようビニールでくるむ) <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 筆記用具(ノート、鉛筆など) <input type="checkbox"/> ミルク <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> ほ乳びん	<input type="checkbox"/> 飲料水(1人分) 9リットル(3リットル×3日分) <input type="checkbox"/> ご飯(アルファ米) 4~5食分 <input type="checkbox"/> ビスケット 1~2箱 <input type="checkbox"/> 板チョコ 2~3枚 <input type="checkbox"/> 乾パン 1~2缶 <input type="checkbox"/> 下着 2~3組 <input type="checkbox"/> 衣類 (スエット上下、セーター、フリースなど) <input type="checkbox"/> ビニールシート

※水の確保
 一人一日あたり3リットルの飲料水が必要といわれています。一方水は飲むだけでなく「洗う」「消す」「トイレで流す」などいろいろなところで使う必要があります。そこで、断水などに備えて日頃からお風呂の水をいつもはっておくのも、災害に対する備えとなります。

◆ 家族会議をしよう

いざというときに備えて防災マップで避難場所・避難経路の確認、災害時の家族間での連絡方法や集合場所などを普段から家族で話し合っておきましょう。

◆ 「災害伝言ダイヤル 171」・ケータイ「災害用伝言板」を活用しよう

大きな災害が起こると電話交換器の故障、通話が集中するため電話が繋がりにくい状況になることがあります。そのような場合「災害伝言ダイヤル 171」、ケータイ「災害用伝言板」を利用すれば被災者の安否確認等を行うことができます。(利用方法は「災害伝言ダイヤル」NTT西日本、「災害用伝言板」携帯電話会社各社のホームページなどでご確認ください)

※防災週間期間中(8月30日~9月5日)「災害伝言ダイヤル 171」ケータイ「災害用伝言板」を体験できます。

上記以外にも、家屋の耐震改修・家具の固定など、身のまわりの安全対策を行っておくとよいでしょう。